

## 2012年度 JIP 報告書 (慶南大学校)

外国語学部日本語専攻 4年 徳留美来

外国語学部外国語専攻 3年 樋口夕華

派遣先：慶南大学校（韓国・馬山）

派遣期間：20日間（2013年3月10日～29日）

費用：国際航空運賃	55,000円
航空券発行手数料	1,050円
関西国際空港施設使用料	2,650円
現地空港税	1,810円
燃油サーチャージ	6,000円
航空保険料	180円
ホテル宿泊料金	125,400円
日本国内交通費	5,000円
海外旅行保険料	9,790円
生活費	約 40,000円（含韓国国内交通費、観光費等）



計 246,880円

※生活費以外の全ては国際交流基金より支援していただいた。

その為実費は生活費の約 40,000円のみ。

### 【受入機関の状況】

現地受入大学名：慶南大学校 師範大学 日本語教育科

日本語教師数：全 8 名（教授 4 名・助教授 1 名・専任講師 2 名・兼任講師 1 名）

（内、日本人は 1 名）

授業：基礎日本語・日本語聴解演習・日本語文法・日本語作文・時事日本語  
基礎日語会話・日語音声教育・日本語講読・日本文学概論・日本語学概論  
日本歴史教育・日本戯曲・日本語会話Ⅱ



【出席した授業】

	9:00~ 9:50	10:00~ 10:50	11:00~ 11:50	12:00~ 12:50	13:00~ 13:50	14:00~ 14:50	15:00~ 15:50	16:00~ 16:50	17:00~ 17:50
月									
火	日本語聴解演習							基礎日本語会話	
水			基礎 日本語					日本語会話Ⅱ	
木						日本語 会話Ⅱ			
金			基礎日本語会話			基礎日本語			

1 コマ 50 分。2 コマ続きの授業の場合、休憩を取らず連続で行われることが多かった。ほとんどの授業が韓国語で行われていた。日本語会話Ⅱは日本語で行われていたが、説明は韓国語で行うことのほうが多かった。

【実習を行った授業】

日本語会話Ⅱ(中級) 各 50 分 生徒数 15 名

- ・ 関西弁と関西の文化について
- ・ 韓国と日本の文化について

日本語聴解演習(初級) 各 40 分 生徒数 35 名

- ・ (場所) へ行きます、(手段) で行きます、(人) と行きます
- ・ 数詞

基礎日本語(初級) 50 分(25 分ずつ担当) 生徒数 35 名

- ・ みんなの日本語第 1 課



### 【授業以外の活動状況】

1週目は学期が始まってすぐだったということもあり、学生との距離はなかなか縮まらなかったが、2週目に入ってからだんだんと話しかけてくれる学生が増え、授業が終わった後や空き時間に話をしたり、昼食や夕食を一緒に食べに行ったりできるようになった。慣れてきて、仲よくなれたと感じた頃に帰国しなければならなかったため、とても悲しくもつと早く仲よくなれていたら、と感じた。

また、週末にはソウルに行き友人と会ったり、ソウル市内を観光したりもした。



### 【生活】

#### ・ホテル（馬山観光ホテル）

学校から近く通いやすい場所にある立派なホテルで、とても過ごしやすかった。1人部屋ではあったがとても広く、テレビやパソコンもあり非常に設備が整っていた。無線LANを使用することもできた。

ホテルの近くにはコンビニが2つあり、飲食店もいくつかあったので生活がしやすい場所だった。

#### ・学校までのアクセス

ホテルのある通りにはバス停がなく、少し歩いてからバスに乗らなければならなかった。バス停まで20分ほど歩き、69番のバスに乗り約30分で学校前のバス停に着く。料金は₩1,200。

ホテル前の通りからタクシーに乗ると10分弱で学校に着き、料金は約₩3,800。2人で出せばバスに乗るのとあまり料金が変わらないため、ほとんどタクシーで通学した。

毎日の授業が行われていた教育館という建物が正門から一番遠いところにあり、毎日登山をしているくらいの感覚だった。急で長い坂道を上るのが辛いときは、タクシーの運転手さんに上の方まで行ってもらってもよかった。

### 【空港からホテルへのアクセス】

金海（キメ）国際空港

↓空港リムジンバス（＼6,800）で約40分

馬山駅

↓タクシーで約20分

馬山観光ホテル

### 【JIPを終えて】

今回、この日本語教育インターンシップに参加し実際の日本語教育の場を体験できたことは、日本語教師を目指す者として非常に有意義で重要な経験だった。

日本で模擬授業は何度もしたが、40人近くの学生を前にひとりで50分間授業をするというのは初めてで、そのうえ学生のレベルもばらばらだったので、全く感覚がわからずすごく戸惑った。また、私は韓国語が喋れないので、媒介語がない状態で、学生が分からない箇所をどのようにすれば理解してもらえるか、どう工夫すればいいのかをすごく考えたし、実際にやってみて見えたことがたくさんあった。3人の先生の授業を見学させていただいたが、先生それぞれ授業スタイルが違い、教え方もとても勉強になった。ますます日本語教育におもしろさを感じたし、同時に自分の力の無さ、勉強の必要性をひしひしと実感した。もっと勉強して、現場に出たいという気持ちが強くなった。

この3週間、日本語教育についてたくさんのことを学べたのはもちろん、人との関わりやコミュニケーションの大切さをすごく感じた。この経験を大事にし、今後の勉強にも活かしていきたいと思う。また今回出会えた友人、再会できた友人、教えていただいた先生方、たくさんの人との繋がりをこれからも大切にしていきたい。（樋口）

たくさんのお出会いと学びに満ちた3週間で、感謝の気持ちでいっぱいです。

この3週間で日本語教育について多くのことを学ぶことができたのはもちろん、韓国語の勉強をすることもでき、また、コミュニケーションの大切さを学ぶこともできました。

実際に授業を行うにあたって、初級のクラスでは普通に会話ができる学生がいる一方、ひらがながまだ分からない学生もいるというようにクラス内のレベルがバラバラなうえに学生数が多く、分かっている学生と分かっていない学生を判断するのが難しいという問題もありました。しかし、授業外で学生たちとたくさん話をしたことで少しはレベルを把握することができ、みんなが興味を持って楽しめる授業をしようと考えることができ、学生が何を知りたいと思っているのかということも少しは知ることができました。

また、今まで日本人と話したことがないという学生や、日本語がまだあまり話せない学生と韓国語を媒介語にしながら話をする中で、言語の大切さや人とつながることの大切さを学ぶことができました。

今回の実習では多くの人の支えのおかげでたくさんのことを学ぶことができ、たくさんの人と会うことができ、本当に有意義な時間を過ごすことができました。韓国で日本語教育に関わっていききたいと今まで以上に強く思うようになりましたが、自分の能力の未熟さを感じるが多々あったので、今後も日本語教育の勉強、韓国語の勉強等を一生懸命頑張っていきたいと思います。(徳留)